

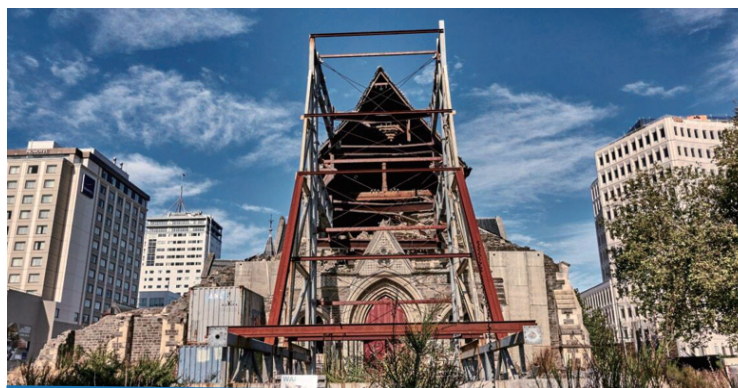
2023
JANUARY **27**
13:00-17:30

オンライン生配信
及び
神戸国際会議場



International Recovery Forum 2023

国際復興フォーラム2023



より良い復興(Build Back Better)と長期的な復興の成果:
強靱で持続可能な未来への目標

Building Back Better and Long-Term Recovery Outcomes:
Aspirations for a Resilient, Sustainable Future



パネルディスカッション1: 大規模災害からの長期的復興経験からの教訓

パネルディスカッション2: より良い長期的な復興成果を確保するための優良プラクティスと革新



ORGANIZERS:

国際復興支援プラットフォーム (IRP)、内閣府、兵庫県、
アジア防災センター (ADRC)、国連防災機関 (UNDRR)



SUPPORTED BY:

外務省 (予定)
NHK神戸放送局

参加申し込み方法は、こちらの2次元バーコードを
読み込むか、以下のリンクにアクセスし、
登録フォームにご記入ください。

申し込み先ウェブサイト: <https://qrco.de/bdWpEJ>



IRP Steering Committee Members





BACKGROUND:

仙台防災枠組実施の中間点において、被災国は、より良い復興の実践において、また改善された復興成果を達成するために多大な困難に直面し続けています。災害復興は、防災分野において最も研究がされていない分野のひとつであり、長期的な縦断研究はほとんど行われていません。短期の復興プロジェクトやプログラムの成果とは異なり、中長期における復興成果を達成する要因は十分に理解されていません。しかしながら、その要因は、災害後数十年や数世代において、被災コミュニティがより強靱かつ公平で繁栄した社会へ復興するかどうかを決める決定的要因です。復興は多くのステークホルダーが関与し、数十年にわたる長く複雑で費用の掛かるプロセスであり、長期的な考慮事項については軽視される可能性があります。

国際復興フォーラム2023では、復興政策決定者、市民社会のリーダーおよび専門家が、強靱で持続可能な未来へ向けたより良い長期復興成果へと導くメカニズムについて議論を行います。登壇者は、災害の影響を受けた被災国の長期にわたる復興経験について討論し、近年の災害からの復興、及び現在進行中の災害復興に関する長期的復興の観点からの教訓を得ることができます。また、これらの復興経験を振り返り、影響を受けたコミュニティにとって長期的な観点から、成功および失敗となる要因について議論します。登壇者は、どのように長期的復興や持続可能性の目標を設定し、より良い復興成果への資金を調達し、誰一人取り残さないようにできるか、またそれにはどういった制度や政策が必要となるかを検討するために、既存のプラクティスやメカニズムを議論し、将来的な脅威や気候変動に対する強靱性を生み出すためには、どのような成果を得るための復興計画を立てるべきかについて検討します。



AGENDA:

開会

13:00 - 13:20

開会挨拶

ロナルド・ジャクソン

IRP運営委員会議長

国連開発計画(UNDP) 危機対応局

防災・復興・レジリエンス強化チーム ヘッド

主催者挨拶

内閣府*

齋藤 元彦

兵庫県知事

水鳥 真美 (特別ビデオメッセージ)*

国連事務総長特別代表(防災担当)兼 国連防災機関長

基調講演

13:20 - 14:00

武村 雅之

名古屋大学減災連携研究センター 特任教授

エミル・K・サダイヌ*

フィリピン政府 公共事業道路省 次官

パネルディスカッション1:大規模災害からの長期的復興経験からの教訓

14:00 - 15:30

モデレーター:

ロナルド・ジャクソン

1. ローリー・ジョンソン

ローリー・ジョンソン・コンサルティング&リサーチ代表

カリフォルニア大学バークレー校 客員科学者

(2005年ハリケーンカトリーナ)

2. リアン・ダルジール

ニュージーランド・クライストチャーチ元市長

(2010-2011年カンタベリー地震)

3. ナディーム・アメッド

パキスタン政府 地震復興庁(ERRA) 元副長官

国家防災管理庁(NDMA) 元長官

(2005年地震及び2010年洪水)

4. フィリピン政府代表*

(2013年台風ハイエン)

パネルディスカッション2:

より良い長期的な復興成果を確保するための優良プラクティスと革新

15:40-17:10

モデレーター:

アビラッシュ・パンダ

国連防災機関 政府間プロセス、機関間協力及びパートナ

シップ部 部長代行

1. ウケ・モハマド・フセイン

インドネシア政府 国家開発企画庁(BAPPENAS)

空間計画・防災局長

(長期復興ガバナンス)

2. インド政府*

(長期的な復興成果のための資金調達)

3. ラテンアメリカ地域*

(誰一人取り残さない長期的な復興)

4. ファラ・カビール

アクションエイド・バングラデシュ カントリーディレクター

(復興を通じた長期的な気候変動へのレジリエンス)

5. 地方政府*

(長期的な復興への備え)

総括・閉会

17:10-17:30

アビラッシュ・パンダ

村上 威夫

IRP運営委員会共同議長

内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官

(普及啓発・連携担当)

* 予定

使用言語:

日本語・英語(日英同時通訳有り)



REGISTRATION:

参加申し込み方法は、こちらの2次元バーコードを読み込むか、リンク先よりアクセスし、登録フォームにご記入ください:<https://qrco.de/bdWpEJ>

国際復興フォーラムについてのご質問は、メールまたはお電話にてお問い合わせください。

お問い合わせ先メールアドレス: irpforum@recoveryplatform.org

IRP事務局電話番号: 078-262-6041

